

研修方略

(1)研修期間

4年間とする。

(2)研修領域および研修期間

幅広い研修の選択肢と魅力ある病院群で、一人ひとりに合った研修が可能であることが特徴である。それぞれの研修病院での研修期間は、研修修了時に修得すべき領域の単位をすべて修得していれば専攻医毎に自由に設定することが可能である。

修得すべき領域と単位（1ヶ月1単位）の詳細は以下の通りとする。

a:脊椎・脊髄	6単位
b:上肢・手	6単位
c:下肢	6単位
d:外傷	6単位
e:リウマチ	3単位
f:リハビリテーション	3単位
g:スポーツ	3単位
h:地域医療	3単位
i:小児	2単位
j:腫瘍	2単位
k: <u>流動単位</u>	8単位
計	48単位

注：

- ① 流動単位は、aからjまでの領域の中から必修単位とは別に自由に選択することが可能。
- ② 地域研修は、専攻医が大規模な病院以外で地域に密着した医療を経験することと、専攻医の都市部偏在を回避することが目的である。
- ③ 1病院で研修可能な分野が複数ある場合は、研修期間及び研修実態に応じて按分する。例えば、脊椎・脊髄、外傷分野の研修病院に1年間勤務した場合は、脊椎・脊髄6単位、外傷6単位を認定、上肢・手、リウマチ分野の研修病院に1年間勤務した場合は、上肢・手8単位、リウマチ4単位を認定する。
- ④ 各項目のC判定領域は、正確な知識を持つべき領域として、実際に経験修得できなくても、Teaching file、カンファランス参加、講演受講、e-Learning等の知識で修得することも可とする。
- ⑤ 手術手技は160例以上を経験すること、そのうち術者としては80例以上を経験すること。尚、術者として経験すべき症例については、別添する資料3：整形外科専門研修カリキュラムに明示した（A：それぞれについて最低5例以上経験すべき疾患。B：それぞれについて最低1例以上経験すべき疾患。）疾患の中のものとする。
- ⑥ 1名の指導医が指導可能な専攻医は3名以内とする。

- ⑦ 研修病院には、原則として常勤の指導医がいることを必須とする。但し、地域医療を研修する医療機関には、常勤指導医がいなくても、専門医研修プログラム管理委員会が指定した指導医と密接な連携を取って研修をした場合は単位として認定する。

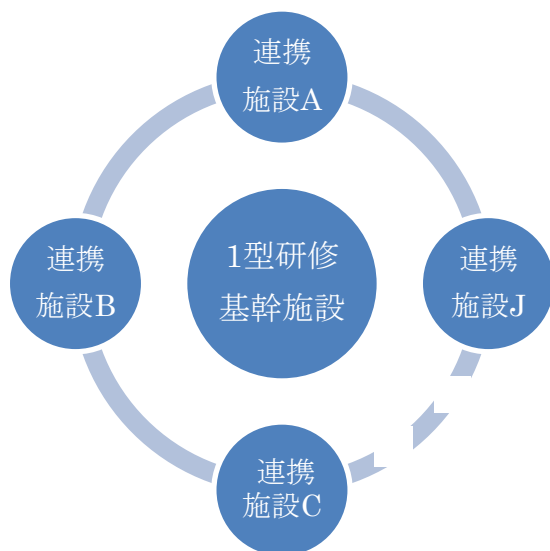
(3)整形外科専門研修プログラム群の概念図

専門研修施設群の構成要件

整形外科領域研修委員会が認定した医療機関を専門研修基幹施設（太陽）とし専門研修連携施設を（惑星）と共に研修プログラム群（太陽系）を構成すること。専門研修基幹施設の種類によってⅠ型研修プログラム群（リサーチマインド研修基幹施設中心群）とⅡ型研修プログラム群（高度診療実績保有基幹施設群）とを設け、その基幹施設の基準を下記に記す。専門研修連携施設数には制限がなく、Ⅱ型研修プログラム群の場合にはリサーチマインドの研修のためにその連携施設群に必ずⅠ型研修プログラム群の基幹施設を含み全専攻医にⅠ型研修施設での研修を必須とすること。Ⅱ型研修プログラム群の連携施設に組み入れるⅠ型研修プログラム群の基幹施設数はⅠ施設だけでなく複数の基幹施設を組み入れることも可。いずれの研修プログラム群の場合でもある専門研修プログラム群内の基幹施設、連携施設が、他の研修プログラム群の連携施設を兼ねることは可とする。

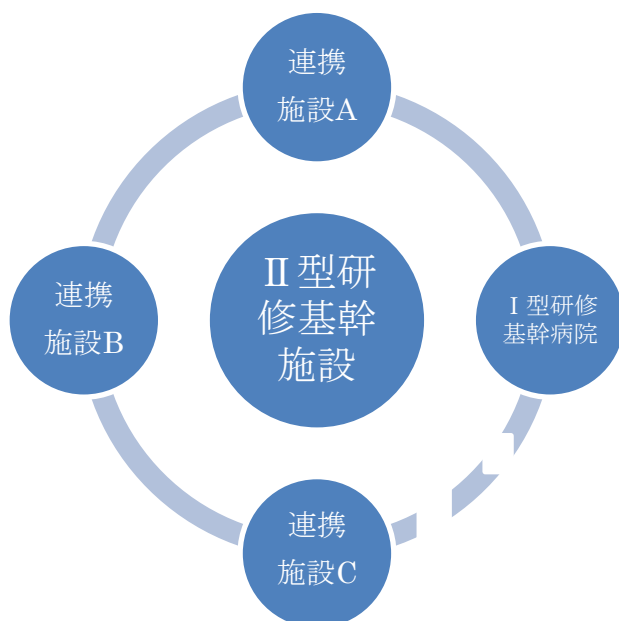
1. Ⅰ型研修プログラム群（リサーチマインド研修基幹施設中心群）の概念図

(専門研修連携施設数は自由。各研修領域に求められている必要研修期間を満たしていれば専門研修連携施設の利用の組み合わせも自由で、必ずしもすべての専門研修連携施設で研修しなくても可)



2. II型専門研修プログラム群（高度診療実績保有基幹施設中心群）の概念図

(専門研修連携施設数は自由だがその中に必ず I 型研修プログラム群の基幹施設を含むこと。組み入れる I 型研修プログラム群の基幹施設は 1 施設だけでなく複数の I 型研修プログラム群の基幹施設を組み入れることも可。)



① I 型専門研修プログラム群の基幹施設認定基準

I 型専門研修プログラム群の基幹施設の条件は、以下の各号を満たすものとし、その認定は整形外科領域研修委員会が行う。

- 1) 特定機能病院または大学病院か医学部付属病院本院であること。
- 1) 特定機能病院または大学病院か医学部付属病院本院であること。
- 2) 専門研修プログラム全体の指導体制、内容、評価に関し監督責任を持つプログラム統括責任者を有し、研修内容に関する監査・調査に対応できる体制を有する医療機関であること。
- 3) 施設実地調査（サイトビジット）による評価を受けること。
- 4) 筆頭著者の所属が当該医療機関である年間の英文論文数が施設全体として 30 編以上あること。
- 5) 日本整形外科学会雑誌と **Journal of Orthopaedic Science (JOS)** を施設として購入し、図書司書を置いた図書室に備えていること。
- 6) 専門医資格を 1 回以上更新している指導医が 5 名以上常勤していること。このうち 1 名は、整形外科専門研修プログラム統括責任者の任にあたる。
- 7) 日本整形外科学会が指定する調査研究に協力すること。

② II 型専門研修基幹施設の認定基準

II 型専門研修プログラム群の基幹施設の条件は、以下の各号を満たすものとし、その認定は整形外科領域研修委員会が行う。

- 1) 初期臨床研修の基幹型臨床研修病院の指定基準を満たすこと。
- 2) 専門研修プログラム全体の指導体制、内容、評価に関し監督責任を持つプログラム統括責任者を有し、研修内容に関する監査・調査に対応できる体制を有する医療機関であること。
- 3) 施設実地調査（サイトビジット）による評価を受けること。
- 4) 日本整形外科学会雑誌と **Journal of Orthopaedic Science (JOS)** を施設として購入し、図書室に備えていること。
- 5) 整形外科専門医が 8 名以上、専門医資格を 1 回以上更新している指導医が 5 名以上常勤していること。このうち 1 名は、医学博士号またはピアレビューを受けた英語による筆頭原著論文 3 編を有する者が整形外科専門研修プログラム統括責任者の任にあたること。
- 6) 施設が担当する研修領域として、脊椎・脊髄、上肢・手、下肢、外傷を必ず含むこと（それぞれの領域の指導医及び専攻医の経験症例数を確保していること）。
- 7) 整形外科の手術件数が年間 800 例以上あること。
- 8) 整形外科入院患者が常時 30 名以上いること。
- 9) 日本整形外科学会が指定する調査研究に協力すること。
- 10) 地域性のバランス、当該医療圏における地域医療への配慮がなされたプログラム群を

構成できる施設であること。

③ 専門研修連携施設の認定基準

専門研修連携施設認定の条件は、以下の各号の要件を満たすものとし、その認定は整形外科領域研修委員会が行う。ただし小児整形外科、骨・軟部腫瘍、リハビリテーションの専門病院、障害児（者）専門医療施設等にあつては、(2)の要件を除外する。また地域研修の施設は(1)、(2)、(5)の要件を除外し、専門研修指導責任者は整形外科専門研修プログラム管理委員会が指定した指導医とする。

- 1)指導にあたる複数の専門医が常勤していること。または専門医資格を1回以上更新している専門医が1名以上常勤していること。このうち、1名は研修指導責任者の任にあたる。
- 2)整形外科研修記録に掲げる術式の手術件数が年間100例以上あること。
- 3)日本整形外科学会が指定する調査研究に協力すること。
- 4)整形外科を標榜科目に含む医療機関であること。
- 5)整形外科入院患者が20名以上いること。
- 6)整形外科診療を適切に行い得るに十分な設備を有すること。
- 7)検査室および図書室ならびに病歴の記録管理が整備されていること。
- 8)日本整形外科学会雑誌と Journal of Orthopaedic Science (JOS) を施設として購入し、図書室に備えていること。

(4)プログラム例

医療機関	修得可能な研修領域	
研修基幹施設	a、b、c、e、f、g、i、j	a:脊椎・脊髄
A 病院	b、d、e、f	b:上肢・手
B 病院	a、c、e、f	c:下肢
C 病院	a、b、c、d、f、g	d:外傷
D 病院	a、c、d、f	e:リウマチ
E 病院	a、c、d、f	f:リハビリテーション
F 病院	a、b、c、d、f、g	g:スポーツ
G 病院	b、c、d、e、f	h:地域医療
H 整形外科	d、h	i:小児
I 地域医療機関	h	j:腫瘍
J 病院	a、b、c、f、i	

ローテーション例

医療機関	1年目	2年目	3年目	4年目
基幹施設	専攻医 1、2、3	専攻医 4、5、6		
A 病院			専攻医 5 専攻医 6	専攻医 4
B 病院		専攻医 2		
C 病院	専攻医 4		専攻医 3	専攻医 2
D 病院	専攻医 5		専攻医 4	専攻医 1
E 病院	専攻医 6			専攻医 5
F 病院		専攻医 1		専攻医 6
G 病院			専攻医 2 専攻医 1	専攻医 3
H 整形外科			専攻医 1 専攻医 2	
I 地域医療機関			専攻医 6 専攻医 5	専攻医 3 専攻医 4
J 病院		専攻医 3		

専攻医修得単位

	1年目	2年目	3年目	4年目
専攻医 1	a2,b2,c2,e1,f1,i2,J2	a2,b2,c2,d2,f1,g3	h6 b1,c2,d1,e2	a3,b2,c3,d3,f1
専攻医 2	a2,b2,c2,e1,f1,i2,j2	a4,b4,e2,f2	c4,d2 h 6	c5,d4,g3
専攻医 3	a2,b2,c2,e1,g3,j2	a3,b3,c3,f1,i2	a3,b2,c3,d3,f1	h6 d3,e2,f1
専攻医 4	a2,b2,c2,d2,f1,g3	a3,b2,c2,e1,i2,j2	a3,c3,d3,f3	b3,d1,e2 h6
専攻医 5	a2,b3,c3,d3,f1	a2,b1,c2,g3,i2,j2	b2,e3,f1 h6	a3,c4,d4,f1
専攻医 6	a3,c3,d3,f3	a3,b2,c3,i2,j2	h6 b3,e3	a2,b2,c2,d3,g3

専攻医修得単位合計

	修得単位	計
専攻医 1	a7,b7,c9,d6,e3,f3,g3,h6,i2,j2	48 単位
専攻医 2	a6,b6,c11,d6,e3,f3,g3,h6,i2,j2	48 単位
専攻医 3	a8,b7,c8,d6,e3,f3,g3,h6,i2,j2	48 単位
専攻医 4	a8,b7,c7,d6,e3,f4,g3,h6,i2,j2	48 単位
専攻医 5	a7,b6,c9,d7,e3,f3,g3,h6,i2,j2	48 単位
専攻医 6	a8,b7,c8,d6,e3,f3,g3,h6,i2,j2	48 単位

(5) ローテーションの決定方法

1) 整形外科専門研修プログラム管理委員会は、採用者が決定した時点で、研修施設・研修

時期などのローテーションにおける選択肢を提示する。

- 2) 採用者は、選択肢の中から順位をつけて希望を提出する。
- 3) 整形外科専門研修プログラム管理委員会において調整し、最終的なローテーションを決定する。